

令和5年度 東京海洋大学基金 活動報告書

東京海洋大学基金

海洋、その先の未来へ

皆様のご寄附が、海洋の未来を拓きます

学長挨拶

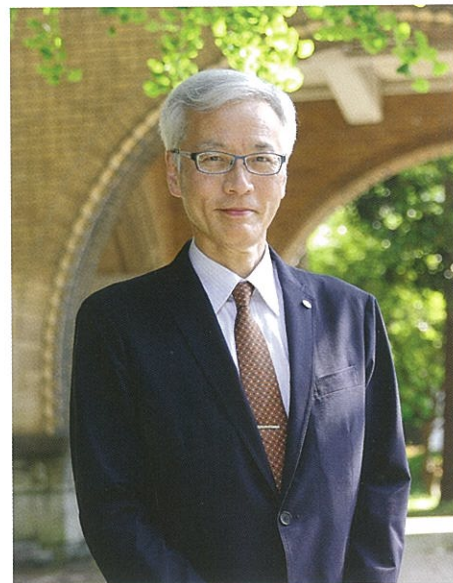
皆様には、常日頃より東京海洋大学へのご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

東京海洋大学は、昨年10月1日に創立20周年を迎えました。「海を知り、海を守り、海を利用する」をモットーとして、我が国が海洋立国として発展していく中心的な役割を果たすために、研究者や高度専門職業人の養成を核として、海洋に関する総合的教育研究を行って来ました。その歴史において、平成23年に設置された「東京海洋大学基金」を財源として、学生への修学支援、教育研究や課外活動への支援、さらに明治丸や雲鷹丸を始めとするミュージアム関連事業等を実施することができました。改めまして、心から感謝申し上げます。

本学では、今年度から4学期制・105分授業を全学的に導入しました。この改革によって、夏季休業期間が長くなり、海外留学やインターンシップなどに行く機会が増えることとなります。そして、この9月に文部科学省の令和6年度「大学の世界展開力強化事業～EU諸国等との大学間交流形成支援～」に本学の申請事業「METIS」が採択されたことにより、従来の「OQEANOUS Plus」プログラムと併せて、国際学生交流事業に力を入れて行きたいと思っています。

また、令和7年度で文部科学省からの支援期間が終了する卓越大学院プログラムでは、海洋AI開発評価センターに学位プログラム運営本部を設置し、「海洋AI・データサイエンス学位プログラム」としての運営を開始しました。この取り組みを発展させて、大学院全体の改革につなげていきたいと考えています。

本学は経済的に困窮する学生達だけではなく、国際学生交流事業や卓越大学院プログラムに積極的に参加し、未来を支える人材となることを目指す学生達も支援していきたいと思っています。そのためには、「東京海洋大学基金」を継続・発展させていくことは必要不可欠であると考えております。今後とも皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



国立大学法人東京海洋大学長

井関 俊夫

Message



副学長 奥 小波

副学長（産学連携・イノベーション創出担当）からのメッセージ

本学では、経済的理由により修学が困難な学生を支援するため、平成28年11月に「修学支援事業基金」を設置し、これまで多くの皆様方からご支援いただいたご寄附をもとに、学生への経済的支援を実施してまいりました。

令和5年度においては、経済的理由により修学が困難な学生23名に総額230万円の支援を行うことができました。いただいたご寄附に対して改めて感謝申し上げますとともに、今後も温かいご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

どうもありがとうございました。

事業概要

東京海洋大学基金は、本学における教育研究、国際交流及び社会連携に関する活動等の推進を図るとともに、教育研究環境の整備充実に資することを目的としています。

東京海洋大学基金寄附メニュー



寄附メニュー

A：一般基金

目的指定をせず、大学全体のために活用させていただいています。

B：プロジェクト基金

目的を指定して、各プロジェクト活動の推進のために活用させていただいています。

- ▶ 大学プロジェクト（大学ビッグプロジェクト支援）
- ▶ 修学支援プロジェクト【修学支援事業基金】（税額控除対象）
- ▶ 研究等支援プロジェクト【研究等支援基金】（税額控除対象）
- ▶ グローバル教育支援プロジェクト
- ▶ 学部・研究科等プロジェクト
 - ◇海洋生命科学部 ◇海洋工学部 ◇海洋資源環境学部 ◇海洋科学技術研究科（大学院）
- ▶ 課外活動等プロジェクト
- ▶ その他特定事業プロジェクト
 - ◇明治丸海事ミュージアム事業
 - ◇マリンサイエンスミュージアム事業（雲鷹丸修復事業含む）
 - ◇附属図書館整備充実 ◇海洋生命科学部及び海洋資源環境学部学術研究奨励基金
 - ◇海洋AI・データサイエンス学位プログラム教育基金
 - ◇水圏科学フィールド教育研究センター保全支援基金
 - ◇海洋工学部国際交流基金 ◇本学練習船による海洋人材育成支援事業基金

収支報告【令和5年度】

受入額

皆様からの温かいご支援により、多額のご寄付をいただきました。
ご支援をいただきました皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

受入件数 293件

受入総額 26,232,296円

寄附者区分	件数	寄附金額（円）
法人	15	10,930,000
個人	278	15,302,296
合計	293	26,232,296

基金支援事業支出報告

皆様方から賜りましたご寄附は、ご寄附の目的に沿って、各支援事業に活用させていただきます。

支出総額 23,197,013円

支援事業	執行額（円）
学生の修学支援	17,862,456
学術資料の収集・管理等	2,418,215
その他目的達成に必要な事項	2,916,342
合計	23,197,013

※令和5年度収支差額 3,035,283円については、次年度へ繰越させていただきました。

主な活動報告

学生の修学支援 支援額 17,862,456円

修学支援事業 2,300,000円

修学支援事業とは経済的理由によって授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる学生に、授業料相当の学費の一部を支援するための奨学金給付です。

令和5年度は学資支給事業として23名の学生に支援給付することができました。

【支援額】 23名×100,000円

新型コロナウイルス感染症対策助成事業等 8,839円

◇ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策

学生の感染拡大防止策として、越中島キャンパス内に一時待避スペースの確保等に活用させていただきました。

【支援額】 8,839円

学部・研究科等プロジェクト支援事業 15,553,617円

特定の学部等へご支援いただいたプロジェクトにおいても、学部等独自に学生の修学支援事業に活用させていただいております。

◇ 海洋生命科学部・海洋資源環境学部

学生への支援としてサークル活動や学生ボランティア活動などの支援を行うことができました。また、海洋資源環境学部における海外派遣研修の支援を行うことができました。

【支援額】 2,739,738円

◇ 海洋工学部

学生への支援としてサークル活動や海王祭への補助をするなどの支援や、成績優秀学生や課外活動団体を表彰するなどの支援を行うことができました。また、PROGテストを1年生及び3年生に実施し、VELCテストを1年生に実施する支援を行うことができました。

【支援額】 2,913,879円

◇ 三輪正人育英会奨学基金（海洋工学部）

学生・院生への奨学金として、学部生18名、大学院生10名（うち留学生1名）に支援することができました。

【支援額】 9,900,000円

学術資料の収集・管理等 支援額 2,418,215円

- ◇ 令和5年度においても基金により、「大津皓平文庫」の整備充実をすることができました。授業指定図書・シラバス掲載の教科書、教員の選定する専門性の高い資料、洋書など整備するとともに和洋電子書籍の充実を図っています。

<附属図書館越中島分館>

【支援額】 1,524,039円



- ◇ 附属図書館の整備充実のために、学生用図書・電子書籍の充実に活用させていただきました。各教員からの推薦、学生からのリクエスト図書（電子書籍、視聴覚資料を含む）を整備することができました。

【支援額】 498,176円

- ◇ スクーター株式会社 代表取締役 樋口信高様から京都銀行SDGs私募債『未来にエール』を通じて、授業の指定テキストや学生からリクエストのあったものを中心に、図書を寄贈いただきました。



- ◇ 重要文化財「明治丸」の維持・管理等に関する技術指導及び作業指導のために使わせていただきました。

【支援額】 396,000円

※重要文化財「明治丸」「百周年記念資料館」「明治丸記念館」の観覧については明治丸海事ミュージアムのホームページをご覧ください。





<修学支援事業>

この度は修学支援事業基金奨学金受給者に選ばれたことを心より光栄に思います。私の家庭は、父が私が高校三年生の時に亡くなってしまい、現在は母親の仕事のみで生計を立てています。私も学費の足しになると考えアルバイトをしていましたが、アルバイトの掛け持ちと学生生活の両立は想像以上に難しく、体力的にも余裕がありませんでした。奨学金のお陰でアルバイトをする時間を削減することができ学業に専念することができます。今後の大学生活ではこの機会を最大限に活用し、様々なことに挑戦していきます。本当にありがとうございました。(海洋工学部1年生)

社会的に不景気な中でこのように奨学生として奨学金をいただける事大変感謝しております。奨学生として今まで以上に学業や課外活動に励んでまいります。(海洋工学部2年生)

この度、皆様の寄附による修学支援事業基金から学資の支援をいただきました。心より感謝申し上げます。複雑な家庭環境のもと、日本学生支援機構様からの給付が突然一時停止となってしまう、困惑するとともに学費の工面に苦勞しておりました。そんな折、地獄に仏ともいえるご支援を賜り、心強く思います。頂いたご恩を忘れることなく、気を引き締めて学業にいそしんでいきたいと思っております。改めて、本当にありがとうございます。(海洋生命科学部2年生)

この度は奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございました。今年度の私の家では、父の転職や妹の進学などが重なり、学費や生活費の負担が大きくなっていました。そのため、今回ご支援いただけることに大変ありがたく存じます。(海洋生命科学部3年生)

この度は、奨学金のご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。奨学金のご支援のおかげで、学費の支払いにあてることができ、現在は学業に充実して取り組むことができます。今後、立派な社会人として自立できるよう、一層努力を行っていこうと思っております。(海洋資源環境学部3年生)

皆様のご支援に心より感謝申し上げます。この奨学金に助けられ、勉学を続けられる幸せを噛みしめております。経済的な困難は自身だけではないとは承知しているものの、限界まで切り詰めた生活に挫けそうになることもございました。皆様の思いやりと応援を胸に、充実した学びを謳歌し、社会に還元できるよう成長したく思います。ありがとうございました。(海洋資源環境学部4年生)

この度は修学支援事業基金給付金に御採用いただき、誠にありがとうございます。いただいた給付金を活用し、研究や自己研鑽に励んでいく所存です。修学支援事業のご支援もあり、金銭的な困難も軽減し研究生活に励めること、深く感謝申し上げます。(海洋科学技術研究科博士前期課程)

**支援をいただいた学生たちの声は、この他にも多数届いております。
皆様のご支援のおかげで、多くの学生に手を差しのべることができました。**

寄附者からのメッセージ

皆様からは金銭的なご支援だけではなく直接いただく「お声」が東京海洋大学の活動、学生の励みとなっています。

- ◇これからも社会に貢献できる人材の育成をお願いいたします。
- ◇是非、日本を引っ張っていくような学生を輩出してください。
- ◇広い視野を持った学生を育成してください。
- ◇海洋の未来を拓く人材育成につながれば幸いです。
- ◇今後の水産業界を担う人材が東京海洋大学より輩出されることを心より期待しております。
- ◇国際社会で羽ばたける人材育成を、期待しております。
- ◇海の星 この地球の未来作りのリーダーとして活躍を祈念します。
- ◇東京海洋大学のますますの発展を祈ります。
- ◇海洋に携わる若者の未来を応援したい。

- ◇今後の日本の水産関係発展のために、日々頑張っている学生さんが、不安なく生活していただけるよう、微力ながら応援させていただきます。
- ◇やりたいことに向かって自由に研究ができますように、応援しております。
- ◇いつも娘がお世話になります。学部生の今後のご活躍を期待いたします。
- ◇卒業生本人は、東京海洋大で学んだことを活かせる職につき、日々頑張っております。感謝の意味も含めまして、本当にささやかではありますが寄附させていただきます。
- ◇2007年11月貴校御卒業生に見ず知らずの息子（泥酔）を品川駅港南口で助けて頂きました。御礼申し上げ寄附をさせていただきます。
- ◇亡父が卒業生です。明治海運に就職し、50代で瀬戸内海航路の水先案内人となりました。父のおかげで私は好きな道を選ぶことができたので、お礼の意味で父の母校に寄附を続けています。父は地方の農家の出身で東京で学ぶのは大変だったと思うので、似たような境遇の学生のささやかな手助けになることを期待しています。
- ◇入学した年度で物入りだったためほんの気持ちです。機会がありましたら来年度以降応援させていただきます。
- ◇些少ですが寄附をさせていただきます。コロナ禍で専攻科を卒業した息子は今年貴校で巡り会った女性と入籍いたしました。大学では社会に出てからでは得られない数多くのことを学ばせていただいたと思っています。他校では得られない経験を積みそこで築いた精神力や他者との関わり方を学ぶことが、社会に出てからの本人の大きな武器になるということを知って欲しいと思います。貴校の益々のご発展を祈りわずかですが寄附は続けさせていただきます。

- ◇練習船海鷹丸のソナーの整備等に活用してください。
- ◇館山ステーションで大変お世話になりました。施設のメンテナンスに活用いただければ幸いです。
- ◇テニスコートのリニューアルに向けた改修工事を是非お願いします。



ご寄附への謝意

寄附者の皆様に深い感謝の意を込めまして、ご希望いただきました方へは、以下のとおり本学から謝意を表します。

▶ 寄附者芳名録

ご芳名を本学ホームページに掲載し、末永く歴史に刻ませていただきます。

▶ 感謝状贈呈

寄附累計額が10万円以上の皆様に感謝状を贈呈いたします。

▶ 寄附者銘板への掲載

寄附累計額が30万円以上の皆様につきまして、寄附者銘板にご芳名を記し、顕彰させていただきます。

銘板は品川キャンパス(本部管理棟1階玄関ホール)と越中島キャンパス(1号館1階正面玄関ホール)に設置しております。



寄附者銘板（越中島キャンパス R6.10現在）

▶ 「感謝の集い」にご招待

本学が平成23年に「東京海洋大学基金」を設立して以来、一定額（累計30万円）以上の寄附をいただいた方々をお招きして、直接謝意をお伝えする「感謝の集い」にご招待いたします。

※令和5年度につきましては、4年ぶりに令和5年8月に開催させていただきました。

お問い合わせ先
東京海洋大学基金
基金渉外室

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7
TEL 03-5463-4279 FAX:03-5463-0359
E-Mail:ef-kikin@o.kaiyodai.ac.jp
URL:<https://www.kaiyodai.ac.jp/kikin/>



東京海洋大学基金